

## ～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

### 研究方法の追加に伴うご連絡

『研究課題名 COVID-19における血漿中細胞外小胞に着目した重症化マーカーの探索』

研究機関名 東北大学病院

研究責任者 麻酔科 職位・氏名 助教・武井 祐介

#### 【研究の概要・目的】

東北大学病院 麻酔科では、東邦大学医学部 微生物・感染症学講座と共同で新型コロナウイルス感染症の血漿中の細胞外小胞に着目し、重症化マーカーの探索とヒトの血管を構成する細胞にあたる影響を検討することを目的として本研究を計画しました。この研究で得られる成果は、新型コロナウイルス感染症の重症化早期探知と、その後の治療オプションを広げることが可能になります。

#### 【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学 医学部倫理委員会の承認を得て実施するものです。

対象者 1: 東北大学において 2018 年 3 月～2020 年 3 月までに「微生物に応答するヒト白血球の IL-36 cytokines の役割」(2017-1-1086, 2019-1-714)に参加された健常者の方

対象者 2: 2020 年 10 月～2021 年 9 月までに COVID-19 と診断され東北大学病院に入院し「COVID-19 感染患者における凝固異常の病態解明に関する前向き観察研究」(2020-1-660)に参加された方

方法: 上記研究で採取されました血液サンプルを使用し、血液内の重症化タンパクの探索を行います。加えて、健常者および COVID-19 患者の血漿から抽出した細胞外小胞を試験管内で、ヒトの血管内皮細胞を刺激して細胞に発現する分子を解析し、重症化に係る因子とその機能を探索します。

#### 【研究に用いられる試料・情報】

試料: 上記研究ですでに採取されている血液

輸送方法: 専門の業者に依頼し、凍結のまま東邦大学医学部へ輸送されます

情報: 性別、年齢、COVID-19 重症度、臨床で測定された血液データ

#### 【外部への試料・情報の提供】

本研究では、「COVID-19 感染患者における凝固異常の病態解明に関する前向き観察研究」で得られた試料(血液サンプル)を東邦大学医学部に提供します。さらに試料を他の外部に提供し、新たに解析を行う場合には、改めて倫理申請を行い承認を得てから試料の提供を行います。

#### 【研究組織】

代表施設名: 東邦大学医学部 微生物・感染症学講座

研究代表医師: 青柳哲史 役職: 准教授

連絡先

〒143-8540

東京都大田区大森西 5-21-16 医学部 1号館 9階

TEL 03-3762-4151

共同研究施設:東北大学病院 麻酔科 研究分担者医師:武井祐介 役職:助教

**【個人情報について】**

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

**【東北大学病院連絡先および担当者】東北大学病院 麻酔科**

職位・氏名 助教・武井 祐介

E-mail: ytakei@med.tohoku.ac.jp

電話 022-717-7321 内線 PHS 5542